

魚沼民主工工会

2016年

9月 5日

第2020号

発行 魚沼民主工工会
新潟県魚沼市板木
電話025(792)3064
e-mail:umisyo@rose.ocn.ne.jp

塙沢・新会員歓迎学習会を開きました！

8月26日、石打区公民館にて、塙沢は役員会（※模擬班会）および新会員歓迎学習会を開き10人が参加しました。

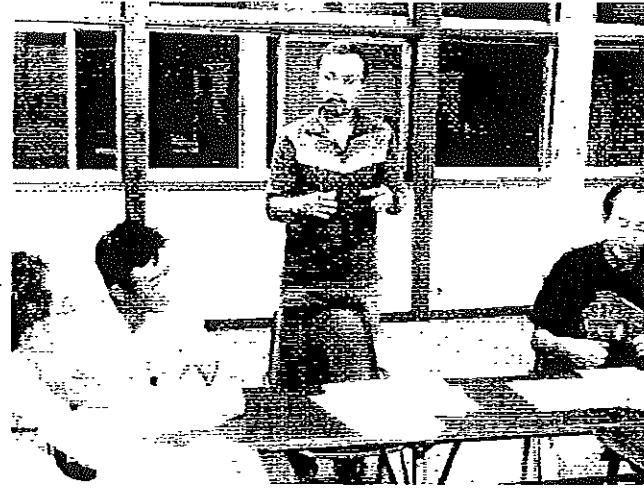
新会員は6月に従業員から事業者へと事業継承した、自動車钣金業の平賀稔さん（45歳）です。

まず中沢支部長から「今日は嬉しいことに、新会員の平賀さんがこの会に参加して頂いています。

これから支部の役員会を行い、その後に新会員歓迎学習会を皆さんと一緒に学びたいと思います。そ

して、平賀さんは民商はどんなことを話し合うのか、またどんなことをするのか、ぜひ見聞してください」と挨拶し、役員会へと移行しました。役員会はこの間の会員の様子、地域の様子、そして税務調査等について、お互いが情報を出し合い交流しました。

引き続き同学習会では、平賀さんから「自分はもののづくりが好きで、この道20年以上となりました。この春突然、親方から『俺はもう高齢でやめるから。平賀から引き継いでもらいたい』と懇願され、6月1日から事業を引き継ぐことになりました。自分自信このままでは行けないと想い、（今後について）何かやつてみたいこと



民商会員・戦争体験を聞く会に出演しました！

8月28日、小出郷福祉センターハウスにて、民商会員も参加している魚沼九条の会主催の「戦争体験を聞く会」が開かれました。

語る方は民商会員の小川典夫さん（88歳・印刷）と、商工新聞読者の神保昭一さん（80歳）の2人でした。

小川さんの話は国民学校卒で鉄道省に入省し、勉学に励みながら鉄道の仕事を従事しているなかで終戦を迎える。話のなかで「終戦間際、新潟から見た長岡空襲はとてもスゴイものであった。空襲の翌日、上司から長岡駅への移動が命じられ、そく現場に入った。長岡市内は辺り一面焼け野原で焦げ臭かった。しばらく貨車の移動作業をしていたら、（貨車上に）木製の戦闘機が運ばれてきた。思わず何だあこれかと思つた」のシーンが、とても印象的でした。

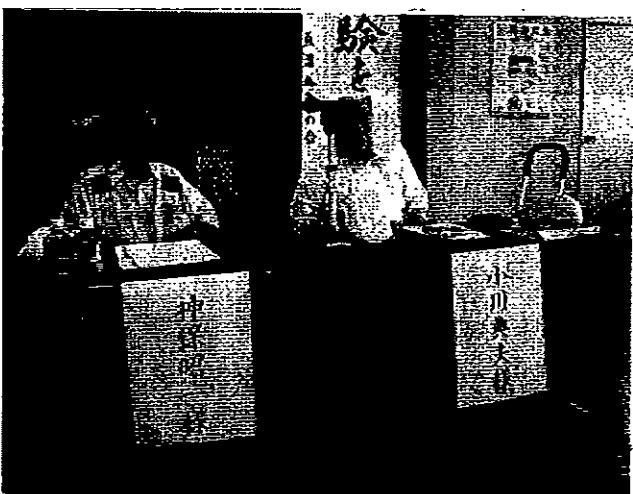
神保さんは旧伊米ヶ崎村（当時450軒世帯・人口2000人）に生まれ、少年期の記憶で隣組（※常に集まりのなかで、親が戦費調達のために国債を買わせられていた苦労話）の様子や、伊米ヶ崎小学校の様子が鮮明に語られました。終戦は旧堀之内町の軍事工場勤務で迎えました。

お2人とも元気な姿で、先人の

があります」と、元気な声で自己紹介しました。回学習会は「ようこそ民商」（田子）の読み合わせを行い、一つひとつ丁寧に学び交流しました。

その後、場所を岡ちゃん（居酒屋）に移動し、懇親会が盛況に行われました。学習会は1時間、懇親会は2時間と、とても充実したひと時となりました。

歴史を学ぶことができ、とても感概深いものとなりました。



民商会員の「交流の広場」を掲載募集します！

この間の民商の集まりで、「仕事がない」「納稅がたいへん」「昨年と比べてみてもこんな年はない」など、深刻な声があがっていました。私たちの民商では会員どうしの「仕事まわし」の一環として、民商たより（ウラ面）を活用して、会員の紹介コーナーを設ける運びとなりました。掲載寸法は縦10cm×横150cm。掲載は無料。原稿（ゲフ）等は民商へ届けるか、メールまたはFAXで送ってください。イメージはこのウラ面をご覧ください。ぜひ、皆さん積極的に応募してください。

法律相談のお知らせ	
日 時	9月 13日(火) 午後1時より
会 場	民商事務所 大澤 理尋 先生 (新潟中央法律事務所)
弁護士	
相談料	3,000円
※予約制ですので早めに事務所までご連絡下さい。	